一、一般經濟の復興

南京入城以来当地の復興は先づ日本人の進出に鑑み之が監督統制を主眼とし難民を主とする支那人の經濟的復興は之を顧みるに暇なかりしか事態の平靜に伴ひ先づ商會の設立あり市面の流通に依りて、諸多の營業開始せられたる為本機關に於ても三月下旬頃より商會と連携之が側面的援助を行ふこととせり商會の調査に依れば現在營業開始七百四十七件に及へり

一方に於ては領事館再 せられ従来の營業許可は事の性質上表面上領事館に移譲し唯家屋使用許可は本機關に於て指導しつつあり

一般營業許可中特に注目すへきは下関に在る揚子麵粉公司工場の復興にして元重慶居留民會長をして經營せしむることに方針を決し上海特務部に報告し其の許可を得たり本件の趣旨は同工場を大同麵粉公司と合併、日本側は重慶居留民の再起を図るに在り因に同公司は民国二十一年の成立に係り資本金三十万円なりしか營業不振の爲此処二十二年間大同麵粉公司に委任經營せられたり江蘇省鑑によれば同公司工場は口一

ラー十二台毎年実需小麦六十万、毎年産粉能力百二十万袋、毎年実生産麵粉百万袋なり

工場は揚子江分流なる挾水に沿ひ鉄筋コンクリート建にして主要機械はアメリカ製なり唯支那軍の軍事施設に利用せられ敗走の際倉庫並宿舍を焼失し工場の一部に延焼せり工場堅固地の利佳にして大約二箇月後運転復旧の見込なり

次に氣候漸く温暖なるに従ひ衛生の見地より製氷工場の復興を急務とし不取敢通濟門外七里街九 氷廠を支那人をして經營せしむることに決せり同工場は民国二十一年成立せるものにして一日の製造能力四噸製氷用水は水道水を用ひす の水を使用す

茲に通貨問題に隣し一言すれば軍經理部の意向は軍票の流通を促進するに在るか故に本機關も之に応じ日本商店にして支那人に対し商品を販売する者は軍票に限り販売せしむることとせるか軍の移動あり軍票と金円の交換円滑を欠き小商人にして軍票を多く所持し新に商品の任入に困難を感じる者漸く出て本機關に対し之が斡旋申請ありたる為師團經理部に度々之が実情を説明せり斯くの如くして三月二十三日中支

那派遣軍の指令に基き今後は師團經理部に於て憲兵又は軍隊の証明あるものに限り 宣邦価と交換し得ることと 残り三月下旬南京に於ける支那人に対する物資販売指定商二十一軒を調査せる所によれば軍票手持総額約2万円なりしか主として小商人なる為相当金融硬を来せるものの如し

最後に日本人進出概況は一、在留法人数七二二名二、營業許可数一八一件三、開業数一〇五件にして詳細は以下統計の如し

前任所別人口統計表(三月末日)

前任所別/男女別	男	女	計
揚子江上流地方	一〇二	三九	一四一
上海	一五二	四七	一九九
朝鮮及台灣地	一四七	二五	二七二
其他	八	一八	二六
計	四三五	二八七	七三二

營業許可数及開業、未開業別調査表

(三月末日現在)

營業別	許可数	開業数	未開業数	摘要
麵粉工場	一	—	—	
貿易商	五	—	四	